

編集後記

(66 卷 第 7 号 2020 年 7 月)

「編集後記に綴った 20 年間の思い出」は皆さんのお手元に届きましたでしょうか。227 編の駄文・雑文の中には、私なりの信念や思い入れが比較的うまく表現されたものもありました。人気のあった編集後記を挙げてみます。2000 年 8 月号 (論文の書き方), 2001 年 12 月号 (ES 細胞研究), 2003 年 1 月号 (クローン人間), 2003 年 5 月号 (新研修医), 2003 年 8 月号 (火星大接近), 2004 年 1 月号 (白い巨塔), 2004 年 6 月号 (アホとカシコ), 2006 年 8 月号 (悲しい記憶), 2006 年 10 月号 (アンチエイジング), 2009 年 8 月号 (泣き虫先生), 2010 年 12 月号 (河豚鍋), 2011 年 5 月号 (ダビンチ導入), 2013 年 1 月号 (戦時のリーダー), 2013 年 2 月号 (水影心), 2016 年 2 月号 (ふるさと納税), 2016 年 10 月号 (優秀な外科医), 2016 年 11 月号 (座右の銘), 2017 年 1 月号 (芸能人格付け チェック), 2018 年 7 月号 (調子に乗って), 2019 年 11 月号 (ラグビーワールドカップ) などです。

何人かの先生からは「楽しく読ませていただきました」というお手紙を頂きました。大切な時間を私の駄文につき合ってください本当にありがとうございました。この様な本を出すことも今後ないと思うので、私の一生の宝物になりました。出版の提案をしていただき、本の作成を一手に引き受けていただいた M 女史に心から感謝いたします。

(小川 修)